

令和6年9月2日

国土交通省関東地方整備局

横浜国道事務所

『第1回 国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会』 の開催結果について

国道246号の新善波トンネル（伊勢原市善波地先）の厚木側坑口付近では、8月30日（金）に土砂崩落が発生し、通行止めを実施しています。

今回の事象を踏まえ、令和6年9月2日（月）に「国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会」を開催しましたので、概要をお知らせします。

本日、「国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会」を下記のとおり開催しました。

今後、委員の皆様から頂いた助言を踏まえつつ、速やかな交通解放に向けて、復旧工事を実施してまいります。

工事期間中、地域の皆様や道路利用者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

■会議の概要について

1. 日時：令和6年9月2日（月） 13時00分～14時00分
2. 委員：別紙のとおり
3. 議事概要：以下のことを確認した。
 - ・トンネル坑口上に堆積した土砂は、流動化しやすい土質であること。
 - ・斜面にすべり残った土砂が大量に残っており、ひび割れ及び表流水が見られることから、今後、更なる崩壊が発生してもおかしくないこと。
 - ・応急復旧対策として、トンネル坑口上に堆積している土の除去・土のうの設置、道路法面对策として鋼製の仮設防護工、排水対策を実施すること。
 - ・トンネル坑口上での土のうの設置にあたっては、トンネル本体構造の安全を確認すること。
 - ・法面の変位を計測する機器を調査結果に基づき設置し、観測体制を確保すること。
 - ・上記の応急復旧対策および観測体制確保を実施したうえで、交通解放を行うこと。
 - ・引き続き、本復旧に向けた調査設計および施工を行うこと。

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ 横浜ラジオ・テレビ記者会

<問い合わせ先>

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

TEL：045-287-3001（代表） FAX：045-287-3023

副所長 渡邊（わたなべ）（内線205）

管理第二課長 小野（おの）（内線441）

国道246号伊勢原市善波地区法面崩落対策検討委員会
名簿

所属・役職名	氏名	
横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 教授（工博）	早野 公敏	委員長
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長	桑原 正明	
国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 構造・基礎研究室長	藤田 智弘	
国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 特命事項担当 上席研究員	浅井 健一	
国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員	日下 敦	

(順不同)